



蒼天祭YOSAKOI演舞

北海道情報大学

同窓会 同窓報

Vol. 12

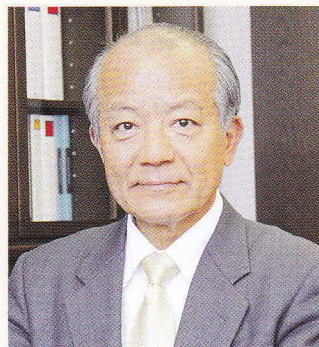


発行：平成26年12月1日
北海道情報大学同窓会

大学の三つ目の使命 — 地域連携・産学連携 —

北海道情報大学 副学長

澤井 秀



同窓生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。お元気にご活躍されていることと存じます。

さて、大学には研究と教育という二つの大きな使命がございますが、それらから生じた成果を社会に提供するという、もう一つの重要な使命も忘れてはなりません。地域連携や産学連携などはその三つ目の使命に含まれることですが、本学でもゼミを中心とした活動がいろいろ行われてきております。

例えば、地域の商店街や個々の商店・企業、あるいは商工会議所や観光協会、さらには道や市などから研究を受託して、ホー

ムページの制作、江別産ケチャップや地ビールなどの商品の市場調査やパッケージデザインまで含めたブランディング、あるいは「江別スイーツマップ」といったようなパンフレットやポスターのデザイン、「江別まち歩きゲーム」の制作などを行ってきました。また、江別市民の購買行動や生活意識調査研究および公共交通の実態に関する調査研究などを通して、高齢化社会に向けたスーパーや店舗あるいはバス路線などに関する提言も行ってきました。

このような活動を通して、地域の活性化に多少なりとも役に立ったのではなかろうかと思いますが、こういった取り組みをさらに積極的に推し進めるために、学内に地域連携・産学連携センターなる組織が新たに設置され、今後のさらなる地域貢献が期待されます。

それらとは別に、学内の健康情報科学研究センターでは、北海道を健康科学産業の基地とすべく、生活習慣病の予防や健康増進に役立つ機能性食素材について科学的根拠に基づいた評価を行うために、人を対象とした食の臨床試験システムを江別市／道・食品加工研究センター／江別市保健センター／江別市立病院と連携して確立し、多くの試験を行ってきています。この試験システムを支えるのは地域住民ボランティアの方々ですが、ボランティアとは言っても単に「ギブ」するだけではなく、この試験システムと並行して進めている「健康カード」システムによる継続的な健康チェックと健康増進のメリットを「テイク」してもらっています。

以上、本学に纏わる地域連携・産学連携の事例からいくつか紹介してまいりましたが、私立大学はどこも18歳人口の減少という抜き差しならぬ現実に直面しており、このような厳しい環境の中で本学がさらなる発展を遂げるためには同窓生の皆様のお力添えが必要ですので、是非ともよろしく願いいたします。